

# 京人形の甲冑製作技術を活用した「甲冑型シートによる鞆等袋物」の開発および事業化

有限会社み彌け

専務取締役 三宅 啓介さん



三宅 啓介さん

## 親子代々の伝統工芸士

有限会社み彌けは、1969年の創業以来一貫して京人形の製造に取り組んできました。初代代表は1989年に通産大臣指定伝統的工芸品伝統工芸士に認定、2008年に京都府認定伝統工芸優秀技術者「京の名工」表彰、2013年に勲章「瑞宝単光章」を受章しています。また今回の支援事業を担当されている、ご子息の三宅啓介さん（以下三宅さん）は、同年に経産大臣指定伝統的工芸品伝統工芸士に認定されており、親子代々で伝統工芸士を受け継がれています。三宅さんは現在、京人形伝統工芸士と「Samurai Creator」の2つの名を持ち、海外においても活躍しています。



Clutch Bag 「RANMARU」

## 京人形の甲冑製作技術を通して伝統工芸の魅力を伝えたい

「近年の日本では、クリスマスやハロウィンの行事は盛大に行うが、お盆やお正月は特別なことはしない、といった伝統文化を必要としないライフスタイルが生まれつつあり、さらに少子化が需要の低迷に拍車をかけています。近い将来、京人形の需要が減り、一部の人のみ慕われるものになるのではないかと。学んできた京都の何百年と伝承されてきた技術が消えてはいけません。そういった業界の先行きの不透明感から、新たな取り組みの必要性を感じるようになった。」と三宅さん。

「今の若い人にも伝統工芸に触れて趣向を感じて欲しい。カッコいいと思えて、日常生活に取り入れられ、老若男女を問わないものとして何かないか。『鞆』であれば常に身につけるものであり、よいのではないかと？」そう思案していたところ、インターネットで戦国グッズを売っている社長さんと御縁があり、甲冑の製作技術を用いたストラップを2007年に開発。2008年に販売し、人気を呼びました。戦国らしいもので他に商品となるものはないかと要望があり、京都府ものづくりデザインコンペティションの募集を新聞で見かけたのをきっかけに温めていた「甲冑を取り入れた鞆」を製作、応募しました。残念ながら入選はしなかったものの審査には通り、

## 伝統製品の活用

商品化したら売れるかもしれないと手応えを感じたそうです。

当初のものは皮を甲冑技術により編み込んでいたもので、重さもありました。2年ぐらい思い悩んでいたところ、京都商工会議所の「京都ブランド海外市場開拓事業」に認定事業者として参加することとなり、プロのデザイナーに意見を聞くことができました。皮では伝えにくい金属の方がよい、紐をクロスに編んでいく従来の編み方より平行な編み方がよい、などの意見により、今の形の甲冑型シートによる鞆が完成しました。



TOTE 「YUKIMURA」

## 甲冑型シートによる鞆等袋物

甲冑とは、刀や銃などの攻撃から身を守るものでした。その特性から、金属や皮革を外装にして袋物を製作することにより、内包物を保護する効果があります。しかし、袋物として日常生活の場で機能するためには形状の変化が必要であり、また各種デザインに加工、変形できることが重要です。そこで金属や皮革を板状の小片とし、皮に穴をあけ金属プレートをして紐で編み込み、繋ぎ合わせ、シート状の素材を製作することにより、鞆等袋物を製作しました。板状の小片の色や大きさ、そして紐の色の変化の組み合わせにより、様々な種類の商品を開発することが可能です。鞆の他にもコインケースやペンケースも開発しました。また、金属プレートへの光線の反射や、板状の小片を紐で編み込んだ際の模様が固有の意匠を醸し出し、商品の特性の一つとなっています。

海外では「Samurai Armor Bag」として、パリの「メゾン・エ・オブジェ」で注目され、またドバイの展示会でも紐やプレートが真っすぐ揃っている技術に「パーフェクトだ」との声を受けるなど、人気を呼んでいます。日本では、2015年11月に東京で開催された展示商

談会「NEXT Kyoto Selection」に出展、NHKやフジテレビなどテレビや新聞でも取り上げられ、百貨店の催事や通信販売の問い合わせが多くきています。

## 京都伝統の技や意匠を世界に発信していきたい

この製品開発においては、「伝統工芸である甲冑技術を取り入れているところ」、「京人形の伝統工芸士がプロデュースしたものであること」が、他にはまねできないポイントであり重要としていると三宅さん。

伝統産業に携わっている多くの人達が、継承をしていくいく必要性を感じていますが、数年前の三宅さんのように何をやったらよいか分からないと悩んでいる人達がいるのが実状です。三宅さんは、「自分が過去の成功事例に憧れが



MINI CASE 「KIYOMASA」とPEN CASE 「KANETSUGU」あったように、一歩踏み出そうとしている人により意味でお手本となり、世界の人に支持され後に続いてもらえるように結果を出さないといけないと最近感じています」と語ります。「一番あかんのはじっとしていること」とも。

伝統的な人形工芸士でありながらも甲冑技術の鞆を知ってもらい京人形の良さも再認識してもらいたいと、海外に足を運び、自ら鎧を着て日本の伝統工芸の趣向を説明されています。海外に進出することで、「外国人の日本の伝統文化への意識が高いこと」、「日本の製品・製作技術は高い評価を受けていること」に気づくことができ支援事業での成果の大きさを感じているそうです。「人形師としての立ち位置を忘れず、新しいことにもチャレンジして伝統を守っていきたい。そして本来の京人形の需要を絶やすことなく継承していきたい」と語る三宅さんの今後の期待されます。

## 事業概要

### 有限会社み彌け

http://www.kyoto-miyake.co.jp

代表：代表取締役 三宅 繁

業種：京人形、和雑貨の製造および販売

創業：1969年 設立：1999年法人設立

住所：〒611-0042 宇治市小倉町堀池23-20

TEL：0774-22-5008 FAX：0774-22-3062